

～昨年度は、延べ 15,000 人が参加～

環境啓発活動「エコプロジェクト」2010 始まります

株式会社ベネッセコーポレーション（本社：岡山市、以下：ベネッセ）では、2008 年度より、幼児から高校生までを対象にした環境啓発活動「エコプロジェクト」を実施しています。今年度は、「エコプロジェクト」の一環として、以下の活動を実施します。

- ① **＜小・中・高校生を対象にした環境コンクール：7/1(木)募集開始＞**
子どもの時間がとれる夏休みの時期に、環境について改めて考察し、アクションをおこしてもらう機会を提供します。
 - **小学生向け：「もっと！チャレンジ全国コンクール～環境部門～」**
「きみの学校のエコ化計画～地球にやさしい夢の学校をつくろう～」をテーマに、気になる環境問題について調べて、学校で取り組める解決案を提案してもらいます。コンクールを通じて、子どもたちに「身の回り～地球環境」について関心を持ち、考える機会にしたいと思います。12 月には東京にて表彰式も予定しています。
 - **中学生向け：「中学生環境コンクール」**
生活する中で感じる「ムダだな」と思うことについて、減らすための考えや取り組みに関するレポートを募集します（エコ・レポート部門）。また、同時に、「チャレンジ！打ち水 2010」をテーマに、夏休みの間に「打ち水」することを専用 Web サイト「中学生環境部」上で宣言してもらい、Web 上で宣言者を増やしていきます。自分の生活を振り返ることで、環境活動について考える機会を提供します。
 - **高校生向け：「高校生環境小論文コンクール」**
環境問題についての考えを、小論文の形式で募集します。環境問題に対する解決策は、大人よりもむしろ、高校生の柔軟でユニークな考えにこそヒントがあるとベネッセは考えます。身近な問題から考えを深める機会を提供します。
- ② **高校生向け：東京大学教養学部との共同プログラム「高校生のための直島環境キャンプ」**
8/1（日）～8/4（水）、社会連携活動、特に高大連携活動を推進している東京大学教養学部附属教養教育高度化機構と共同で、香川県直島・豊島にて「高校生のための直島環境キャンプ」を企画・実施します。豊島の産業廃棄物処理施設の見学や、東大の先生による講義、参加者とのディスカッションなどを通じて、環境問題についての考えを深めてもらいたいと考えています。
- ③ **幼児向け：「かんきょう紙芝居」全国の園を対象に環境について学ぶ紙芝居を無償配布**
全国の幼稚園、保育園を対象に、幼児向けの環境教育教材と家庭用復習教材を無償で配布します。園での紙芝居、家庭での復習教材、そして園での確認教材と、3 つの教材を連動して使うことで、子どもたちが環境について効果的に学び、活動できる内容です。現在、配布を希望する園に、教材をお届けしております。

環境についての関心がますます高まる中、ベネッセでは、環境に対する配慮が出来る次世代の育成を行う「エコプロジェクト」の活動を継続的に行ってまいります。今後も更なる環境啓発活動や環境情報の発信など、事業特性を活かした環境活動を推進していきます。

■エコプロジェクトについて■

「エコプロジェクト」とは、「エコロジー」+「ココロ」+「プロジェクト」を組み合わせた言葉です。子どもたちがベネッセの環境教育を通じ、環境問題についての理解を深めるとともに、環境に配慮した活動を自主的に行えるようになってほしい、というベネッセの願い（心）を込めた活動です。

※詳細は、右記 URL をご覧ください：<http://www.benesse.co.jp/kankyo/ecolo/>



【エコプロジェクトロゴマーク】

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ベネッセコーポレーション 広報部（担当：西沢、坂本、濱野、十河）

電話：042-356-0657 FAX：042-356-0722

<添付資料>

■2009 年度実績■

●環境コンクール募集結果:全国の小学生・中学生・高校生より **5,172** 点の応募がありました。

- ・ 内訳:小学生 204 件、中学生 4,617 件、高校生 351 件

●幼児向け「かんきょう紙芝居」:全国の約 **15%**の保育園に採用いただきました。

- ・ 採用いただいた園数: **3,604** 園 (日本全国の保育園の約 **15%**に相当)
- ・ 成果レポート: **303** 園
- ・ 活動による CO2 換算値: **511,947kg**

●エコプロダクツ展:仙台・東京で合わせて **7,435** 名のブース来場がありました。

■7/1 (水) 応募受付開始! 環境コンクールの詳細■

【小学生対象】 「もっと! チャレンジ全国コンクール」 環境部門

2004 年からスタートした「もっと! チャレンジ全国コンクール」は、今回で 7 回目となります。昨年は全国より 7 万近い応募が寄せられました。2008 年度より小学 5 年、6 年生を対象に「環境部門」を設置しています。

応募対象	全国の小学 5 年、6 年生(環境部門) ※環境部門は小学 5 年、6 年生のみが対象です。環境部門以外に、小学 1 年生～6 年生までの全学年を対象にした作文部門、自由研究部門があります。詳細はWebサイトをご覧ください。
応募期間	7 月 1 日 (木) ～9 月 11 日 (土)
テーマ	「きみの学校のエコ化計画～地球にやさしい夢の学校をつくろう～」～きみが気になる環境問題で、学校で取り組みそうなことを考えよう!～ (形式・サイズ・枚数自由)
応募窓口	〒700-8686 岡山支店 郵便私書箱第 154 号 (株)ベネッセコーポレーション 「第 7 回 もっと! チャレンジ全国コンクール」小学生の部 応募係
応募方法	「チャレンジコンクール」HP より、応募方法を確認のうえ、作品と共に上記応募窓口まで送付
主催/共催/後援	・主催: Benesse 教育研究開発センター ・共催: 朝日小学生新聞、進研ゼミ「小学講座」、ベネッセグリムスクール ・後援: 東京都教育委員会、全国教育研究所連盟、環境省、財団法人 日本環境協会
問合せ先	「第 7 回 もっと! チャレンジ全国コンクール事務局」 0120-92-5096 (通話料無料)
Web サイト	http://www.benesse.co.jp/s/land/concour/
入賞者の発表	それぞれの募集部門・学年で大賞・優秀賞・佳作に選ばれた方のお名前は、「もっと! チャレンジ全国コンクール」HP ならびに朝日小学生新聞などで 12 月中に発表予定
表彰式	2010 年 12 月 12 日(日)東京にて開催予定

《ご参考》「環境部門」以外の募集部門について

作文部門	小 1・2 年生: 「ぼくが わたしが もしも まほうを つかえたら」(本文 200 字以内) 小 3・4 年生: 「最近うれしかったこと」(本文 300 字以内) 小 5・6 年生: 「これから挑戦したいこと」(本文 400 字以内)
自由研究部門	小 1 年生: 「きみが みた・さわった いきものの え」 小 2 年生: 「きみが ふしぎだと 思った 生きものの 絵」 小 3・4 年生: 「きみのふしぎ調査」 小 5・6 年生: 「きみの発見調査レポート」

【中学生対象】「中学生環境コンクール」

応募対象	全国の中学 1 年～3 年生
応募期間	7 月 1 日（木）～9 月 6 日（月）
応募部門 テーマ	① エコ・レポート部門「ムダをへらして“グッ”と エコライフ」 生活する中で感じる「ムダだな」と思うことについて、減らすための考えや取り組みに関するレポートを募集。 (レポート用紙で 5 枚程度、もしくは原稿用紙 1200 字程度) ② エコ・アクション部門「チャレンジ！ 打ち水 2010」 夏休みの間に「打ち水」することを専用 Web サイト「中学生環境部」上で宣言してもらい、Web 上で宣言者を増やしていきます(専用の Web サイト上の応募フォームにて応募いただく)。
応募窓口	専用 Web サイトにて受付 ※進研ゼミ「中学講座」・「中学講座+i」・「難関私立中高一貫講座」会員には専用はがきあり
Web サイト	http://chu.benesse.ne.jp/open/eco/2010/
入賞者の発表	「中学生環境部」ホームページ、進研ゼミ「中学講座」・「中学講座+i」・「難関私立中高一貫講座」3 月号などで発表予定。

【高校生対象】「高校生環境小論文コンクール」

応募対象	全国の高校生、相当する高等専門学校生など
応募期間	7 月 1 日（木）～9 月 27 日（月）
テーマ	「家、学校、地域などあなたの身の回りで、地球や生物に負荷をかけていると思う問題を挙げ、〇〇の立場から、その問題の解決策を 800 字以内で提案しなさい。その際、その解決策が有効だと思う理由も述べなさい。〇〇には、あなたの設定したい立場を自由に入れなさい。例：環境大臣、企業の社長、教師、高校生など」
応募方法	「高校生環境小論文コンクール」HP より応募 (WEB 応募のみ)
URL	http://manabi.benesse.ne.jp/kankyo2010/index.html
入賞者の発表	12 月初旬ごろ決定予定。 「高校生環境小論文コンクール」のホームページにて、受賞者の氏名、在校名と論文全文を発表。

■「高校生のための直島環境キャンプ」について■

開催日程	2010 年 8 月 1 日(日)～4 日(水) 3 泊 4 日
開催場所	香川県直島および豊島
参加予定	24 名(予定) ※参加者募集は終了。
主催	東京大学教養学部附属教養教育高度化機構 社会連携部門
共催	(株) ベネッセコーポレーション
主な内容	直島・豊島の施設見学、東大の先生による講義、参加者とのディスカッションにより環境問題についての考えを深める。 <予定プログラム> 直島環境センター/有価金属リサイクル施設、豊島の産業廃棄物処理施設見学、ロールプレイングゲーム、レクチャー、ディスカッション、グループ発表など。
詳細	東京大学の右記サイト http://high-school.c.u-tokyo.ac.jp/naoshima/

■かんきょう紙芝居について■

【幼稚園・保育園対象】

教材構成	園向け教材： ① 紙芝居・・・『モッタイナイむらのモッタくん』 ② 指導用カード (理解を深めるために、先生から園児に対して紙芝居の内容を問いかけるためのカード) ③ 確認教材・・・『かんきょうの木ポスター』 (園児が自宅で取り組んだ環境活動について、皆で確認できるポスター) 家庭用復習教材： モッタくんのおやこでかんきょうかくにんブック (園児が、家庭で保護者の方と一緒に園で学んだことを復習し、環境活動に参加できる小冊子)
活用の流れ	① 各園で、先生が紙芝居を園児に読み聞かせ、園児に身近な環境問題について気づききっかけ作りを行う。 ② 各家庭で、復習教材に取り組むとともに、「4つのやくそく」を決めて実際に環境活動を行う。行った環境活動の内容を園に提出する。 ③ 園で、それぞれの園児が行った「4つのやくそく」について『かんきょうの木ポスター』にシートを貼ることで共有する。
監修	財団法人日本環境協会
製作	株式会社ベネッセコーポレーション
対象	全国の幼稚園・保育園
費用	無償
お問合せ先	「かんきょう紙芝居窓口」0120-933-964 通話料無料。受付時間：10:00～17:00（日・祝除く）

園教材：紙芝居
「モッタイナイむらのモッタくん」



家庭用教材



家庭用教材

